

平成 29 年度高知県食の安全・安心推進審議会分科会報告

「ライフサイクルと食育」

日時：平成 29 年 11 月 30 日（木）13:30～15:00

場所：高知県職員能力開発センター 201 号室

参加者：委員 6 名（西岡委員、佐々木委員、久委員、野村委員、能勢委員、谷委員（座長））

幹事課：健康長寿政策課（説明者 佐々木）

参加関係課：食品・衛生課、地域農業推進課、幼保支援課、保健体育課、高知市保健所

◆食育の推進について説明

第 2 期高知県食育推進計画について

ライフステージに応じた食育の推進＜妊娠期（胎児期）～高齢期＞

第 3 期高知県食育推進計画の策定

◆協議内容

○学校給食における地場産物使用割合について

- ・使用割合が平成 23 年度と平成 28 年度と比べて下がっているのはなぜか。
- ・教育現場には、地場産物活用への意識はあるのか。

⇒

- ・地場産物活用の指標は、文部科学省の調査結果であり、調査時期が 6 月と 11 月の年に 2 回であることや高知県の調査対象は 4 施設であることなどが関係してくるのではないかと。
- ・今年度は、高知県で全施設調査を行い、2～3 年調査を継続し、今後の調査方法を検討する予定。
- ・食材は入札制度で仕入れることが多いが、栄養士が必ず献立を考えている。

○ライフステージ別の食育について

- ・年齢の区分はどうか。（乳児期～幼児期）
- ・妊娠期や女性の更年期など、カルシウムの摂取について必要な情報を伝える方法は何かないか。
- ・男性の料理の実践について、配偶者が介護状態になるなど調理が必要とされる時に、役に立つように強力な手立てが必要である。
- ・中学・高校生のダイエットの危険性について、体重を落とすだけではないこと。脂肪ではなく、体に必要な筋肉や骨などが減ってくることを知ってもらいたい。

○お弁当の配達について（情報提供）

こうち生協 安芸～須崎、四万十市 月～金 夕食（おかずのみ、ごはんつき）2 社

高齢者福祉生協 高知市委託事業 365 日 容器回収型 見守り隊も兼ねている。

高知大学生協 ミールカード方式 1 日 1000 円、朝食 1 円

※朝食を食べてもらうこと、バランス良く食べることを目的に開始

500 人以上利用している。

○ヘルスメイト（食生活改善推進員）の養成について

- ・若い人の参加が少ないと思うが、例えば高校生にアプローチをするなどはどうか。
- ・養成教室のカリキュラムが平日が多く、仕事をしていると参加が難しい。土日に開催するなど改善できないか。
- ・ボランティアとして講座のお手伝いをしてもらおうという方法もある。